

第13回 環境放射能除染研究発表会 企画セッション 減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク会合

第2部 技術実証事業成果発表会(第6回)

1. 環境省技術開発戦略目標の達成に向けたJESCOの取組



中間貯蔵・環境安全事業株式会社

- 1. 環境省「中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略検討会」について**
2. 技術開発戦略目標の達成に対するJESCOの取組
3. 技術実証事業について

(1) 環境省「中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略検討会」の概要

■ 目的

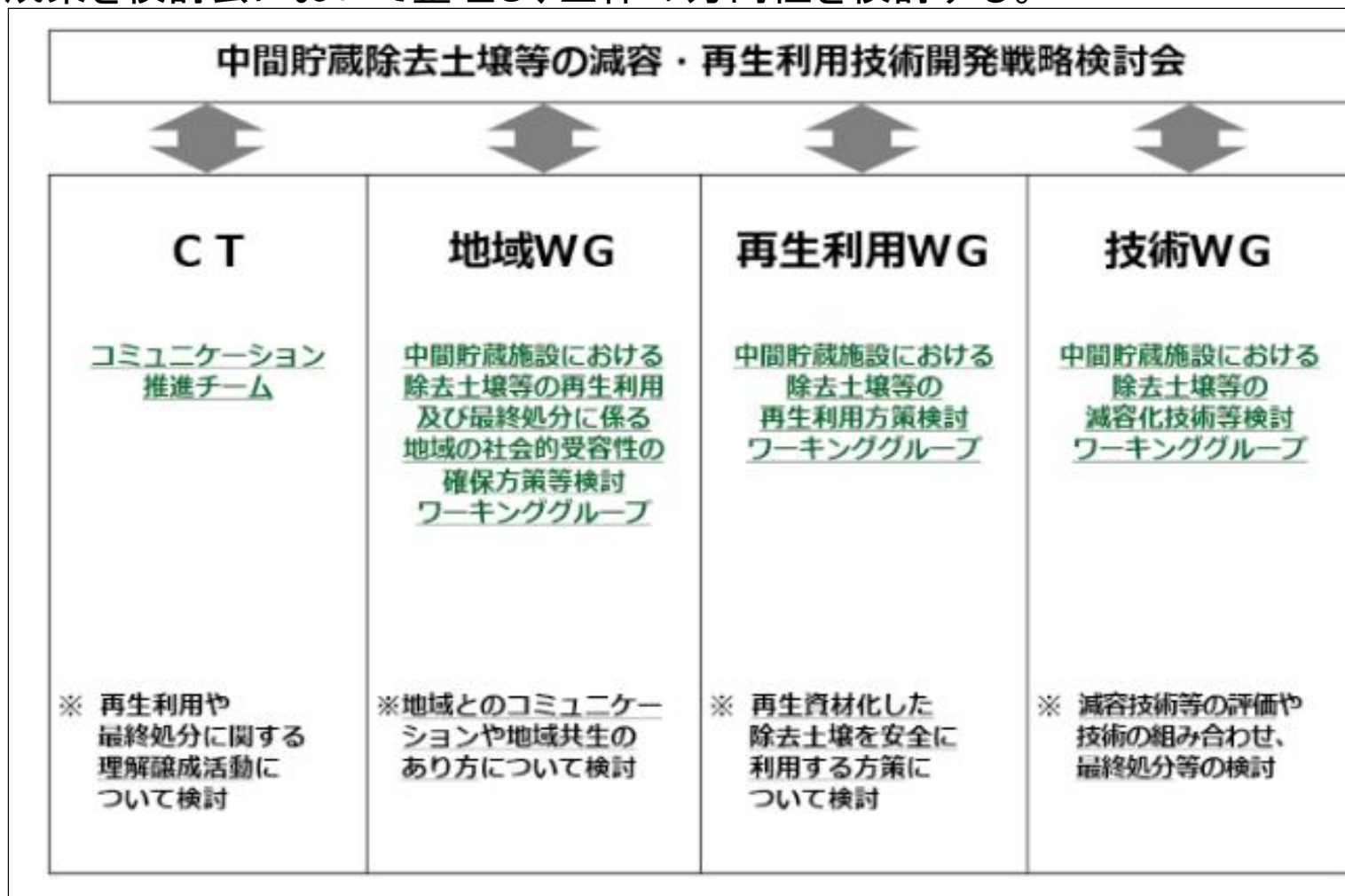
中間貯蔵・環境安全事業株式会社(平成15年法律第44号)第3条第2項において、国は、中間貯蔵開始後30年以内に、福島県外で最終処分を完了するために必要な措置を講ずることとしていることを踏まえ、**除去土壌等の減容・再生利用に係る技術開発戦略、再生利用の促進に係る事項等について検討を行うため**、「中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略検討会」(以下「検討会」という)を設置する。

■ 検討事項

- (1) 減容・再生利用に係る技術開発戦略に係る事項
- (2) 再生利用の促進に係る事項
- (3) その他、減容・再生利用技術の開発等に関して必要となる事項

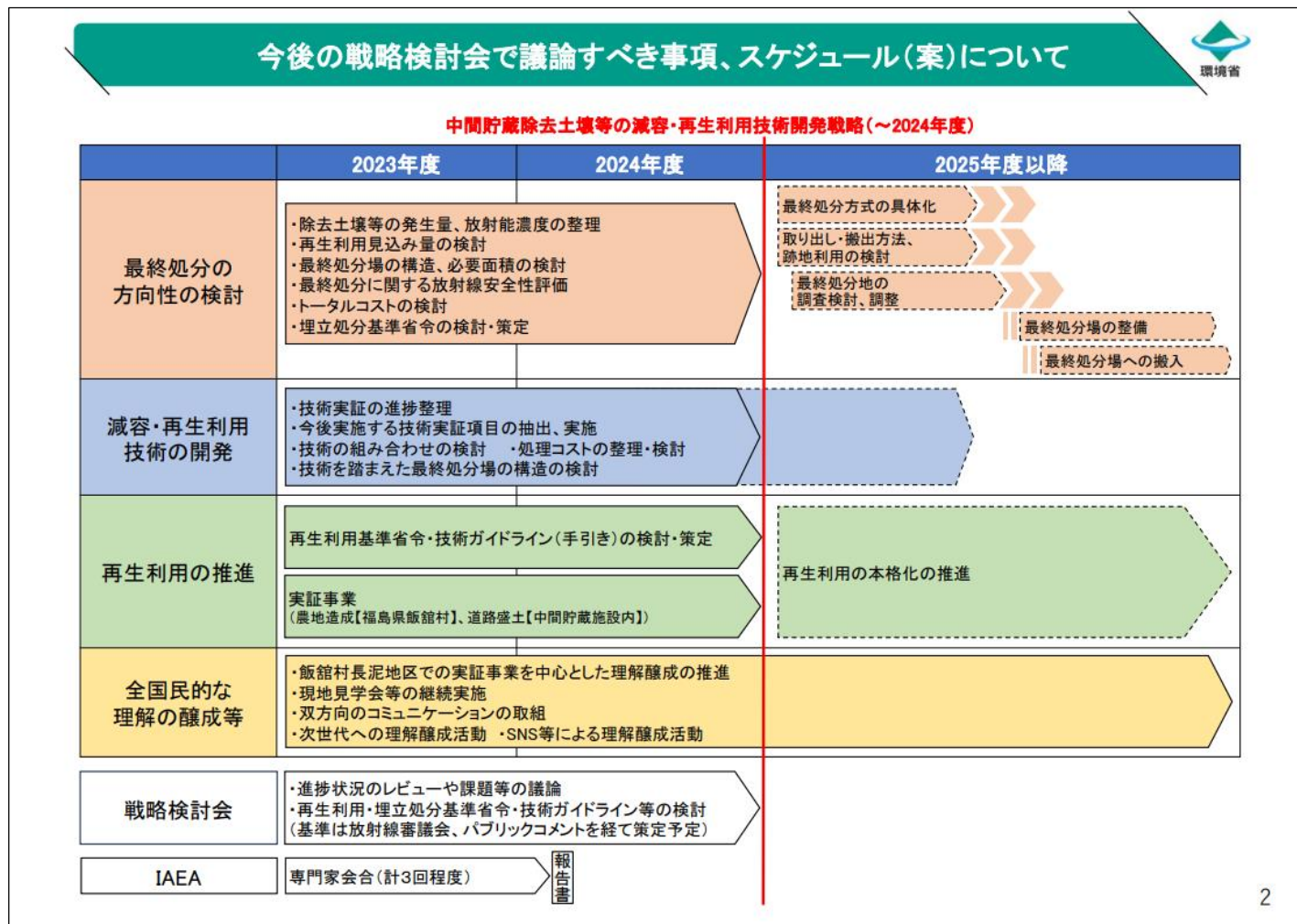
(2) 検討会の進め方

- 検討会の下にワーキンググループ(WG)等を設置し、各テーマを検討する。
- WG等の成果を検討会において整理し、全体の方向性を検討する。



(3) 検討会のスケジュール

■「検討事項」を4つの大項目に分類し、以下スケジュールにて実施中。



1. 環境省「中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略検討会」について
2. **技術開発戦略目標の達成に対するJESCOの取組**
3. 技術実証事業について

(1) 減容等の技術実証

■減容等の技術を実証、データを取得し、各技術の特徴を整理しています。



技術実証フィールド全景(2024年5月7日現在)



分級処理システム実証試験

(1) 技術実証フィールドを活用した技術実証事業

- ①国環研との共同研究
- ②除去土壌等の減容等技術実証事業(公募実証事業)

(2) 直轄実証事業

- ①中間貯蔵施設内における除去土壌の分級処理システム実証試験(H30～H31)
- ②仮設灰処理施設で発生する飛灰を対象とした灰洗浄実証試験(R3～R6)

(2) 減容等の技術に関する基礎資料等の整理

■減容等の技術に関する基礎資料を作成しています。

第4回技術WG資料2を一部修正

減容技術等の評価に関する整理方法について①



これまでの技術WGにおいて、減容技術等ごと（分級技術、熱処理技術等）の評価を行ってきたが、これまでの評価を踏まえつつ、今後のとりまとめに向けて、それぞれの技術の中での小分類ごとに整理・評価をし、総合評価を行うこととする。

※特に、一般の方向けのよりわかりやすい整理・とりまとめに努める。

<減容技術等の分類について（次ページに続く）>

大分類	中分類	小分類（案）
減容化 （分離濃縮）	分級処理技術	湿式分級（通常分級：沈降分離等により、粒径で分別）
		湿式分級（高度分級（付着粒子の分離）：沈降分離等の後、砂に付着する粘土・シルトを分離）
		湿式分級（高度分級（分級点の小粒径化）：沈降分離等の後、粘土・シルトのうち、より細かいものを回収）
		乾式分級（熱風などにより、粒径で分別）
	熱処理技術	熔融
		焼成

※小分類については、今後の議論により変更・追加等があり得る。

1

技術WG資料の一例

(3) 理解醸成に向けた見学対応等

- 工事情報センター等を活用し、中間貯蔵事業、および減容・再生利用へ向けた取組等を紹介しています。
- 福島復興に向けた様々な取り組みを知っていただくきっかけづくりを目的として、ニュースレターを発行しています。



工事情報センター外観



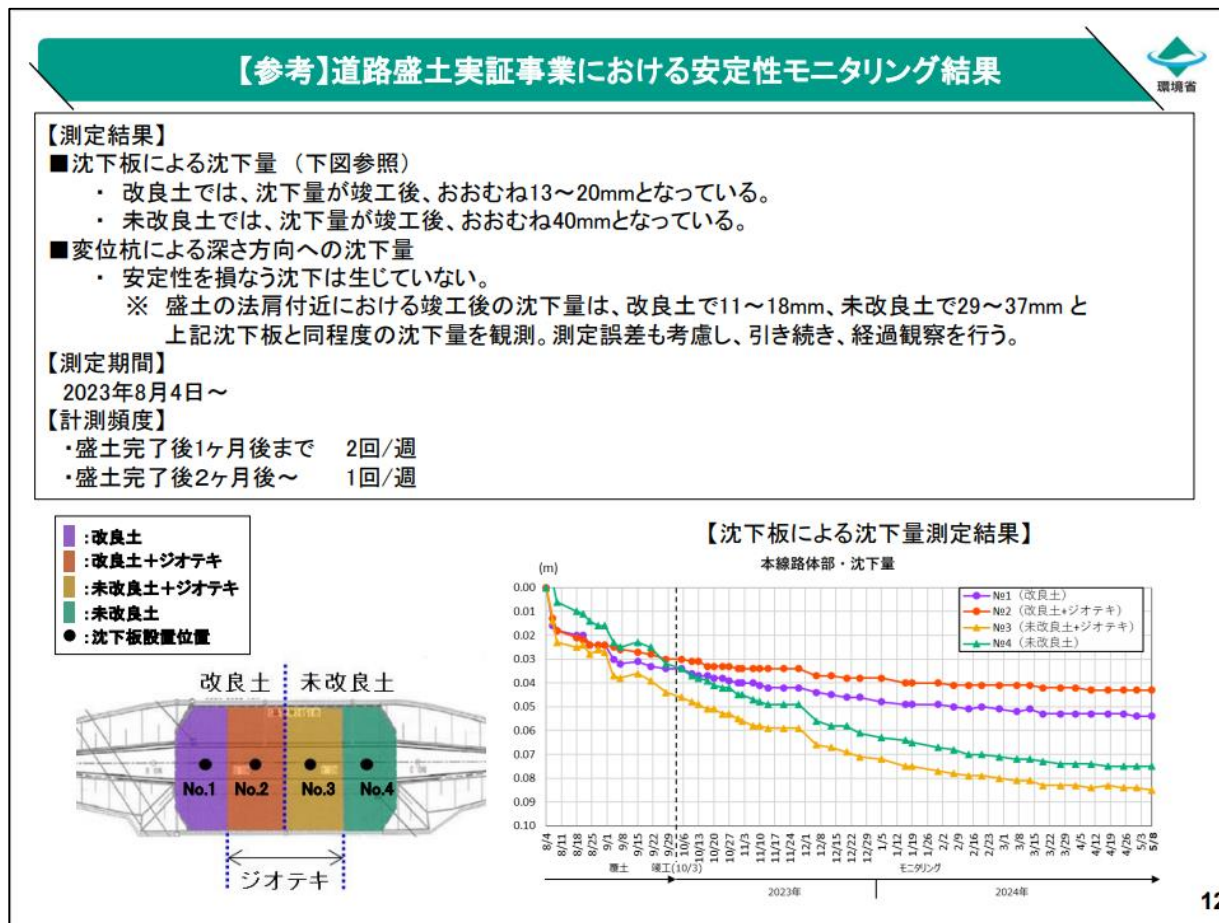
工事情報センターにおける説明の様子

ニュースレターVol.7
(2024年4月発行)



(4) その他

■環境省道路盛土実証事業のサポート、本学会企画セッション等への参加等を実施しています。



環境省道路盛土実証に係るデータを取得

第12回環境放射能除染研究発表会企画セッション

**減容化・再生利用と復興を考える
知のネットワーク会合**

日時 2023年 8月31日(木) 13:40～17:00

会場 とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）
〒960-8116 福島県福島市春日町5-54

オンライン配信 聴講無料

技術実証事業成果発表会（第5回）

1. 成果発表

- 発表1 溶融スラグの再生利用等技術の実証（株式会社大林組）
- 発表2 除去土壌と溶融スラグと脱水ケーキ等をジオバリアの固化材料として利用する技術（大成建設株式会社）
- 発表3 除去土壌Cに対して20μmを分級点とする分級と脱水処理システム（株式会社不動テトラ）
- 発表4 保管大型土の再資源化の技術実証検討（J&T環境株式会社）

2. 全体質疑とまとめ

県外最終処分に向けた減容・再生利用に関する理解醸成

1. 講演

- 基調講演 中野 哲哉（環境省環境再生・資源循環局参事官）
- 講演1 高村 昇（長崎大学教授、東日本大震災・原子力災害伝承館館長）
- 講演2 嶋田 裕子（放射線リスクセンター総括補佐、ジャーナリスト、環境カウンセラー）
- 講演3 鶴野 茂茂（ビーンスター株式会社代表取締役、日本広報学会常任理事）

2. パネルディスカッション

下記のA、Bいずれかの方法でお申し込みください

申込方法

- A 右の二次元バーコードからお申し込み
- B 下記1～5を明記の上、i-network@jesconet.co.jp までにお申し込み
 - 1.氏名 2.勤務先名称 3.所属部署 4.参加場所（会場またはオンライン）
 - 5.メールアドレス（「オンライン会合参加用アクセスURL」の送付先）
 - ※件名は「8月31日聴講申し込み」とご入力ください。

申込締切 8月25日（金）13:00

▶オンライン会合に参加するWebツール（Zoom）のアクセスURLは、開催前日を目途にメールにてお知らせします。

●運営・お問い合わせ●
減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク会合 共同事務局
（環境放射能除染学会、中間貯蔵・環境安全事業株式会社）
担当：秋山・小柳 i-network@jesconet.co.jp

SRRCB JESCO

令和5年度の企画セッション

出典 環境省、第6回再生利用WG資料3より抜粋

環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会、第12回研究発表会

1. 環境省「中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略検討会」について
2. 技術開発戦略目標の達成に対するJESCOの取組
3. **技術実証事業について**

(1) 技術実証事業の成果

■技術実証事業採択数、および活用事例

<公募実証採択数>

分類	採択件数
除去土壌の分級処理	21
除去土壌の化学処理	7
除去土壌・灰の熱処理	5
除去土壌・灰の安定化処理	16
灰の洗浄処理	3
再生利用	10
その他	12

<活用事例>

- ・輸送：通信
- ・受入分別施設：放射能濃度測定・分別
- ・直轄事業
 - 土壌分級実証
 - 熱処理実証
 - 飛灰洗浄実証
- ・仮設灰処理施設

(2) 本日の成果発表

技術実証事業実施者	題目
鹿島建設株式会社	低放射能濃度除去土壌を大量に再生資材化するための品質調整技術の検討
早稲田大学	湿式比重選別法および吸水性固化材を用いた再生土品質の向上
除去土壌等減容化・再生利用技術研究組合 (VOREWS)	除去土壌を分級処理した砂をコンクリート用細骨材に利用するための技術実証